PONI-SOFT　F501

高画質LIVE映像配信システム

ウェアラブルカメラ

2020年10月

創業昭和56年　官公庁指名業者
防犯とIoTの設計・施工・販売・保守

トーカイセキュリティ株式会社

■神戸本社　〒653-0037　神戸市長田区大橋町3－1－13
TEL 078-643-1901　FAX 078-643-1902
■　堺　〒590-0078　堺市堺区南瓦町1-19 グランビルド堺東507
TEL 072-232-6440　FAX 072-232-6430
■名 古 屋　〒464-0851　名古屋市千種区今池南29-24 川島第一ビル3A
TEL 052-251-8748　FAX 052-733-0375
URL：http://www.tokaisecurity.net　Mail：info@tokaisecurity.net

ホームページ

＜導 入 実 績＞

大成建設 株式会社　　JFE東日本ジーエス 株式会社

株式会社 関電工　　株式会社 石本建築事務所

株式会社 熊谷組　　鹿島建設　株式会社　　他多数

＜ YouTube 動画＞

（YouTube検索 ： 「ポニソフト高画質 Live動画伝送システム」)

https://www.youtube.com/watch?v=9gjkmulVGd4

ウェアラブルカメラ・ビデオ・ドローンカメラでの
高画質LIVE映像配信システム　F501

ウェアラブルカメラ

ドローンカメラ

現場とオフィスでライブ映像、情報を共有し、 正確な状況把握と
迅速な意思決定を可能にします

※テレワーク対応製品※

本製品は政府からの助成金や補助金の支援が可能なテレワークに対応した製品です。

＜テレワーク対応製品＞

- 最近新型コロナウィルスの影響により、各分野事テレワークへの取り組みが急務となっております。 弊社製品F501は、遠隔地からの動画と音声をＬＴＥやインターネット網を通じ、Liveにて現場を移動しながら配信出来る製品で現場と会社、会社と自宅間をテレワークで結べる製品です。

(特徴：移動しながらウェアラブルカメラやビデオカメラやドローンカメラでテレビ並みの中継が出来る)

＜政府からの助成金や補助金の支援＞

- 政府からの助成金や補助金の支援は、経済産業省、厚生労働省、総務省、東京都(各県別の自治体)、 東京しごと団体などで経済産業省の場合、最大限度額４５０万円まで補助してますし、厚生労働省か らは最大限度額２５０万円まで助成されております。

＜月払いの少ない予算にてご購入が可能＞

- 弊社製品をより購入し安く、リースプランを用意しておりますが (２年、３年) リース購入の場合でも 政府からの助成金や補助金の支援を貰うことが出来ますので月払いの少ない予算にてご購入可能です。

■システムの特長

- ウェアラブルカメラ、Videoカメラ 映像をスマートフォン経由でWiFi、LTEにより映像(一方向)と音声 (双方向)をオフィスPCに伝送。
- 4チャンネルを基本に同時に複数個所の中継が可能。
- 必要な装備 (スマートフォン、ウェアラブルカメラ等) を１着のベストに収納することで利便性を高め、 作業を効率化を高める。
- ズーム映像、至近の詳細映像も鮮明に伝送。
- 携帯充電バッテリーにより長時間中継が可能。
- ドロ-ンカメラにて危険場所や災難地域の状況をライブで偵察、遠隔地にライブ中継が出来るシステム。
- TV会議システムとしても利用。
- 安価な導入費用にて手軽にご利用出来る(弊社リースシステムプランなど)
- Peer-to-Peer Network 使用による 情報流出やハッキングに強い優れたセキュリティ。

「F501」映像配信システム構成図

ドローンカメラ

ビデオカメラ

ウェアラブルカメラ

F501
スマホ
アプリ

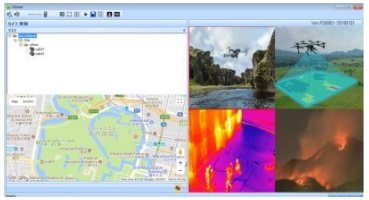
マイクとイヤホン

LTEとWiFi

Internet

インターネット
固定 IPライン

パソコンビューア

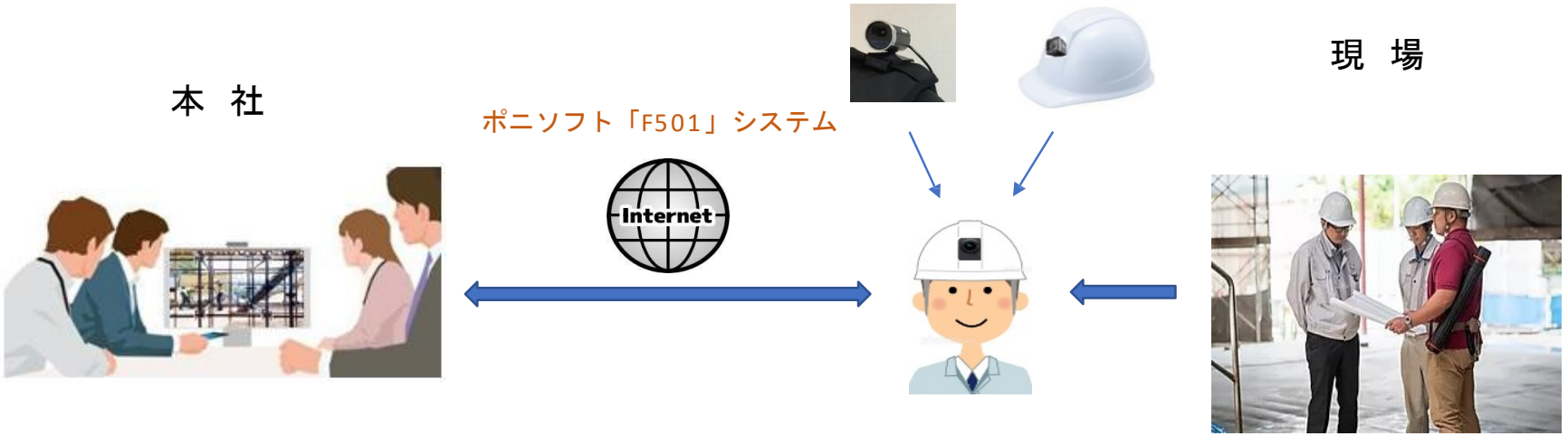


本 社

支 店

営業所

映像配信カメラ種類: 1) ウェアラブルカメラ



➢特　徴　：　移動しながら高画質の映像と音声を配信。

＜活用現場1＞

警備 ：
・1人での巡回警備をオフィスでも同時監視。安全強化と業務を効率化。
・監視カメラの死角をライブで同時監視。
・ドローンのGPS巡回設定によるライブ空撮巡回警備。
・ドローンのサーマルカメラで侵入者・動物・火災検知。

建設工事現場：
工事進捗状況をライブ映像により管理部門と情報共有し変更箇所など至急の打ち合わせを映像共有により迅速化する。人手不足への対応。 熟練者からの技術教育。

製造： 現場の状況共有。 遠隔地からの指示、支援。

物流： 倉庫内作業の効率化。出張の削減人手不足への対応。

＜活用現場2＞

■イベント会場 ：
・ライブ中継で映像提供サービス
・イベント会場状況確認
・ドローンによる空撮映像のライブ中継。

■教育、研修、セミナー：
・講義のライブ中継サービス。実演、実習をズーム撮影中継。

■緊急現場、災害現場：
・対策センターとのライブ映像共有により迅速な指示、対策立案。
・ライブ中継による被害現場認識と素早いダメージコントロール
・ドローンによる空撮映像のライブ中継。

■ビル管理現場：
・ライブでのメーター読み合わせ、管理会社本部と同時監視。
・オーナーによる委託会社の業務実行監視

■土木計測：
・ドローンにて地上標定点（GCP）の設定が困難な現場の偵察や測定に活用。
・ドローンによる空撮映像のライブ中継。

■山火事や洪水、下川管理：
・ドローンによる危険地域や災難地域の管理監視。
・ドローンによる空撮映像のライブ中継。

＜活用現場3＞

■設計事務所：
・計画敷地の見学、調査をライブ映像で社内関係者も同時に見ながら追加調査事項を指示。
・現場のライブ映像を関係部署に伝送しその場で打ち合わせ、工事監理の効率化を図る。現場とのTV会議としても利用。
・監理部門の研修用として、指導者が社内で現場のライブ映像を同時に見ながら現場にいる担当者を指導する。
・工事業者が施工上の協議、設計変更などを別の場所にいる設計監理者とライブ映像を同時に見ながら打ち合わせ、監理の合理化、工事の迅速化を図る。
・監理業務委託会社と共用し費用に見合った業務を行わせ効率化を図る。
・工事発注仕様書にて現場備え付けを明記すれば施工業者にて手配可能。
・ドローンにて地上標定点（GCP）の設定が困難な現場の偵察や測定に活用。
・ドローンによる空撮映像のライブ中継。

■建設事務所：
・災害、事故のライブ映像を対策部門と共有して迅速に指示。
・現場のライブ映像を設計事務所、発注者に伝送しその場で設計変更など打ち合わせ、工事の効率化を図る。
・現場とのTV会議として利用。
・研修用として、指導者が社内で現場のライブ映像を同時に見ながら現場の担当者、新人を指導する。
・溶接等安全管理が特に必要な工事のライブ映像を管理部門がダブルチェック。
・安全管理の評価アップにつなげる。
・ドローンにて地上標定点（GCP）の設定が困難な現場の偵察や測定に活用。
・ドローンによる空撮映像のライブ中継。

映像配信カメラ種類: 2） ビデオカメラ

ポニソフト「F501」システム

本　社

現　場

➢特　徴：ウェアラブルカメラでは写せない遠距離ズームが可能。
テレビ中継同様、移動しながら高画質の映像と音声をLive配信。

自治体：ウェアラブルカメラでは伝えられない、テレビ放送並みのLive映像中継にて
ベントや災難、対策本部の迅速な判断により正確な指示や対策を立案。

消防署：ウェアラブルカメラでは伝えられない、テレビ放送並みのLive映像中継にて
幅広く火事現場を本部へ伝え、迅速な判断にて正確な指示や対策が可能。

建築現場：ウェアラブルカメラでは伝えられない、テレビ放送並みのLive映像中継に 幅
広く、工事進捗状況を管理部門と情報有し変更箇所など至急の打ち合わせ を
映像共有により迅速化。 人手不足への対応。熟練者からの技術教育など。

その他：研修、セミナー、教育現場、 災害緊急現場などの
Live中継をテレビ放送並みのLive映像と音声中継。

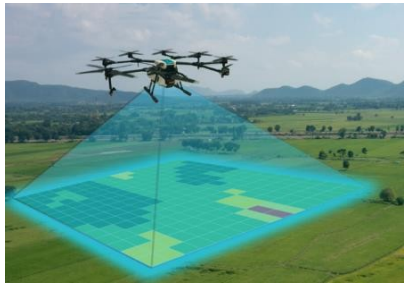
映像配信カメラ種類: 3) ドローンカメラ

➢特　徴 ：ウェアラブルとビデオカメラでは写せない空中撮影映像をLive配信。

建築現場：ウェアラブルカメラやビデオカメラでは撮影出来ない場所をドローンによるLive空撮にて危険な場所の状況や工事進捗をより速く管理部と情報共有し変更箇所など至急の打ち合わせを映像共有により人手不足への対応。塾練者からの技術教育など。

消防署：ウェアラブルカメラやビデオカメラでは撮影出来ない場所をドローンカメラによる空撮にて幅広く火事現場を本部へ伝え、迅速な判断にて正確な指示や対策が可能。

自治体：ウェアラブルカメラやビデオカメラでは撮影出来ないドローンカメラによる空撮にて危険地域や災難地域の管理監視が可能し、迅速な判断と対策を立案。



土木計測: ドローンにて地上標定点 (GCP) の設定が困難な現場の偵察や測定に活用。

＜F501映像配信システム特徴まとめ＞

◆ウェアラブルカメラ、ビデオカメラ、ドロ-ンカメラ映像をスマートフォンアプリを通じ
WiFiやLTEにて映像と音声を配信。「映像（一方向）音声（双方向）通信」をオフィスPCへLive配信。

◆ビデオカメラやドローンカメラの高画質ズームアップにて
テレビ中継同様、移動しながら高画質の映像と音声をLIVE配信出来る。

◆ 4チャンネルを基本に同時に複数ヶ所の中継が可能(基本１ヶ所用)。

◆必要な装備 (スマートフォン、ウェアラブルカメラ、ビデオカメラ等) をベストやポーチバックに
収納することで利便性と効率化を高める。

◆ドローンカメラにて危険な場所や災難地域の状況をライブで偵察、遠隔地にライブ中継が出来る。

◆パソコンのViewerにて位置情報表示と録画が出来る。

◆携帯無線充電バッテリー付きで長時間中継が可能。

◆ TV会議システムとしても利用。

◆ F501は、スマホアプリからPCViewerへサーバを経由せず直接送信する方法で
Peer-to-Peer Network 使用による情報流出やハッキングに強い優れたセキュリティー。